

法令順守のこと
大きな組織にだけ
あるものでは
ないのです。

コンプライアンス



記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com

子どもの支援に関わるおとなや子どもにも**コンプライアンス**があります。

「**傷つけない、壊さない、だまさない、差別しない**」これらはみんなですらなければいけない**コンプライアンス**だと考えます。

人権にかかわる事柄だからです。自分も他人も、こころも体も傷つけてはいけないことを、小さいうちから守らせて欲しいのです。

☆1

子どもは義務教育の中で社会人として必要な知識とスキルを身に付けていきます。

でも、学ぶのは学校の中だけではありません。日常生活に関しては家庭で学びます、ご近所や買い物に行った時にも学んでいます。

ですから子どもを教え導くあなたやわたしが**コンプライアンス**を持っていることが、とても大事なのです。

★2

子どもを「**しかる**」のは、その子に**コンプライアンス違反**がある時です。その場で、それが難しいなら可能な限り時間を置かずにしかりましょう。

コンプライアンスを持たせるためには、子どもが泣きわめいてもかまいません。人目も気にしてはいけません。その場をつく

ろうことと、子どもが一生残る心や体、人間関係に関わる傷を負うことと、あなたが優先ですか、子どもですか？

その勇気を持っていただきたいのです。

☆3

保育・幼稚園への登園で、大泣きしてお母さんにしがみつくと子が居ます。その時、不憫 ふびん 思うことが子どものプラスになるのでしょうか？

いいえ。お母さんが自分のためにしていることに気づいて欲しいのです。それが親としての**コンプライアンス**です。

スーパーで「あれを買って」とその場にひっくり返って泣く子に負けて、欲しいものを買ってあげるのも**コンプライアンス違反**です。

手に余る子が好き放題しているのは、泣き叫ぶ、おとなをオロオロさせると自分の思い通りになると、誰か勘違いさせてしまっています。

子どもに、何としても**コンプライアンス**を守らせる気概 きがい を持って教えること、それはおとなの**コンプライアンス**です。

